

人権・同和教育町内研修会

2月2日(日)、人権・同和教育の町内研修会を湯屋谷と湯や川町内合同で開催しました。

講師は、市同和教育啓発指導員の伊藤成二さん。「思いやりの種で笑顔の花をいっぱいになつたわたし(あなた)にできること～」と題し、パワーポイントを使い分かり易く話していただきました。

参加者は、「人権問題について自分に当てはめて考えさせられた」など、建設的な感想を述べていました。



救急法講習会：女性災害サポート隊

2月15日(土)、女性災害サポート隊が救急法講習会を開催しました。

講師は、防災士で女性災害サポート隊アドバイザーの富田真澄さん。応急手当の重要性や心肺蘇生、AEDの使い方や気道異物除去法など分かり易く説明された後、実際に三人一組でAEDを使って練習しました。繰り返し受講し練習することが、いざという時に活かせることに繋がると改めて感じた講習会でした。



荒木コミセンから視察

荒木コミセンの環境保全連合会の皆さん6人が、2月21日(金)に、大寺薬師の仏像を拝観後、鳶ヶ巣城の歴史について説明を聞かれました。講師を務めた「鳶ヶ巣の歴史を語ろう会」の中島薫さんは、「ふるさと鳶ヶ巣物語」に記載された内容を中心に、資料とパワーポイントで丁寧に説明をされました。

参加者からは、「鳶ヶ巣城や宍道氏、尼子氏などのことがよく分かった」と、喜んでもらえました。



交流ひなまつり会

3月3日(月) 鳶ヶ巣地区社会福祉協議会主催

の「交流ひなまつり会」が55名の参加で賑やかに開催されました。幼稚園児さん6名による可愛い歌でスタート。その後図書館司書さんによるお話ユニット「TU」の歌や手遊びや紙芝居などがあり、子どもも大人もとても楽しめた交流ひなまつり会でした。



鳶ヶ巣の文化財

戦国の山城 鳶ヶ巣城の歴史(1)

鳶ヶ巣城は、標高281mの鳶ヶ巣山に築かれた戦国時代の山城です。

鳶ヶ巣山は、北山の山脈から南に突出している険しい山で、神門、楯縫、出雲の各郡(現出雲市)の大部分を俯瞰できる天然の要害です。また、当時は宍道湖が今の斐川地域の東半、平田地域の東部まで入り込んでいたこともあり、水運を利用した物資流通の重要な位置を占めていたと思われます。

平成17年に発刊された「ふるさと鳶ヶ巣物語」によると、鳶ヶ巣城は1509年に宍道久慶(しんじ ひさよし)が精築したとされています。城主となる「宍道」氏は、出雲国守護に任ぜられた京極高秀(きょうごく たかひで)の子供秀益(ひでます)が、宍道郷を分け与えられたことから「宍道」を名乗ります。なお、秀益の兄高久(たかひさ)は、尼子氏の祖となります。

宍道氏系図 ① 秀益・・・久慶－経慶－隆慶－政慶(山口 佐々木家蔵による)

宍道氏系図 ② 繁綱(久慶)－秀綱(経慶)－隆慶－政慶(井上家蔵による 霊雲寺写し有)

※宍道氏の系図は他にも確認されているが、「ふるさと鳶ヶ巣物語」に記載の2系図を掲載

宍道久慶は、尼子経久(あまご つねひさ)の譜代の民として、尼子氏の近隣国の征服の戦いに参戦し功績をあげたことなどから、経久の娘と結婚し次第に領地も加算(林木、美談等)されました。そこで、1515～16年頃に所領の大部分を掌握できる鳶ヶ巣城に宍道から移城したと思われます。【鳶ヶ巣の歴史を語ろう会】

